

平成21年度下半期

那珂市の財政事情



市では、市民の皆さんに財政状況をお知らせし、市政運営の状況をご理解いただくとともに、豊かで住みよいまちづくりに一層のご協力をお願いするため、毎年2回、財政事情を公表しています。

地方自治体では、4・5月の出納整理期間に収入・支出の整理ができるため、最終的な決算額は5月末日に確定します。そのため、今回は3月末現在における予算の執行状況や市有財産の現在高などについてお知らせします。なお、最終的な決算額については、「広報なか11月号」で掲載する予定です。

一般会計

一般会計は、市の基本的な経費を計上しています。一般会計の歳入歳出予算の執行状況は、予算現額合計に対する収入済額の割合が88・3%、支出済額の割合が84・4%で、ともに順調に執行されています。

歳入では、配当割交付金や財産収入等が予算額を超えて収入されています。これは、原資となる県民税配当割の税収が見込額を上回ったことや土地（市有地）の売り払いによる収入が見込額を上回ったことによる

ものです。一方で、県支出金や市債の収入割合が低くなっていますが、これは、県支出金の交付や市債の借り入れが、事務手続きの都合で4月以降になるためです。また、国庫支出金の収入割合が低くなっているのは、翌年度に繰り越して実施する事業の財源となっているものがあり、平成22年度に収入するためです。

一般会計歳入予算執行状況

単位：千円、%

歳入科目	予算現額	収入済額	収入割合
市 税	6,987,088	6,983,225	99.9
地 方 譲 与 税	311,769	315,862	101.3
利 子 割 交 付 金	22,265	22,569	101.4
配 当 割 交 付 金	6,322	7,266	114.9
株式等譲渡所得割交付金	3,895	4,123	105.9
地方消費税交付金	470,071	447,350	95.2
自動車取得税交付金	76,338	79,510	104.2
地方特例交付金	87,558	87,558	100.0
地 方 交 付 税	3,501,622	3,623,046	103.5
分担金及び負担金	291,852	270,068	92.5
使用料及び手数料	191,825	196,299	102.3
国 庫 支 出 金	3,195,602	2,369,283	74.1
県 支 出 金	1,129,138	386,400	34.2
財 産 収 入	21,025	28,396	135.1
繰 入 金	63,656	56,707	89.1
繰 越 金	578,197	578,197	100.0
諸 収 入	482,719	511,241	105.9
市 債	1,868,568	1,068,068	57.2
そ の 他	10,784	10,885	100.9
合 計	19,300,294	17,046,053	88.3

一般会計歳出予算執行状況 単位：千円、%

歳出科目	予算現額	支出済額	支出割合
議会費	219,175	201,697	92.0
総務費	3,239,527	2,708,814	83.6
民生費	4,541,638	4,119,360	90.7
衛生費	1,304,593	1,195,914	91.7
農林水産業費	995,685	767,645	77.1
商工費	206,874	159,990	77.3
土木費	2,245,004	1,849,473	82.4
消防費	1,075,932	887,595	82.5
教育費	3,145,575	2,105,724	66.9
公債費	2,290,110	2,270,971	99.2
その他	36,181	26,308	72.7
合計	19,300,294	16,293,491	84.4



特別会計歳入歳出予算執行状況

単位：千円、%

会計名	予算現額	収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険（事業勘定）	5,268,930	4,812,066	91.3	4,609,521	87.5
老人保健	15,331	14,118	92.1	9,305	60.7
下水道事業	2,483,327	1,818,191	73.2	2,145,182	86.4
公園墓地事業	12,985	14,841	114.3	11,360	87.5
農業集落排水整備事業	639,961	332,360	51.9	457,247	71.4
介護保険（保険事業勘定）	3,075,901	2,938,887	95.5	2,778,003	90.3
介護サービス事業	2,383	2,381	99.9	2,381	99.9
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	224,800	150,098	66.8	170,411	75.8
後期高齢者医療	413,342	409,550	99.1	397,296	96.1
那珂地方公平委員会	450	707	157.1	30	6.7
合計	12,137,410	10,493,199	86.5	10,580,736	87.2

市税負担の状況

税目	収入済額（千円）	1世帯あたりの負担額（円）	1人あたりの負担額（円）
市民税	2,962,816	142,683	52,804
固定資産税	3,280,665	157,990	58,468
軽自動車税	110,505	5,322	1,969
市たばこ税	324,581	15,631	5,785
特別土地保有税	44	2	1
都市計画税	304,614	14,670	5,429
合計	6,983,225	336,298	124,456

世帯数20,519世帯、人口56,261人（平成22年3月31日現在）

歳出では、教育費の支出割合が66.9%と比較的低くなっています。これは、額田小学校や芳野小学校の耐震補強事業等を翌年度に繰り越して実施するなどの理由によります。なお、このほかの歳出科目の未払い金については、出納整理期間（4月～5月末日）に支払われる予定です。

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。特別会計の歳入歳出予算の執行状況は、予算現額合計に対する収入済額の割合が86.5%、支出済額の割合が87.2%で、例年並の状況となっています。歳入では、下水道事業、農業集落排水整備事業及び上菅谷駅前地区土地区画整理事業において、県支出金の交付や市債の借入れが4月以降になるなどの理由で収入割合が低くなっています。

歳出では、老人保健事業においては、後期高齢者医療制度への移行に伴う月遅れ請求分が見込額を下回っているなどの理由により支出割合が低くなっています。また、那珂地方公平委員会においては、平成21年度中に委員会を開会する必要がなかったために支出割合が低くなっています。このほかの特別会計の未払い金については、出納整理期間に支払われる予定です。

市の財政は、市民の皆さんの直接・間接の負担により賄われています。なかでも、市税は、財政運営上極めて重要な歳入であり、常に適正公平な賦課徴収に努めています。平成22年3月31日現在における市税の収入済額は、69億8,322万5千円で、1人あたり12万4,456円を負担していただいたこととなります。

特別会計

市税負担の状況

市債現在高（元金）

単位：千円

区 分	平成21年 9月30日現在	増 減	平成22年 3月31日現在
総 務 債	355,130	100,042	255,088
民 生 債	100,078	17,123	82,955
衛 生 債	1,485,068	99,199	1,385,869
農 林 水 産 業 債	389,006	24,183	364,823
商 工 債	0	0	0
土 木 債	1,662,692	131,977	1,530,715
都 市 計 画 債	2,139,160	70,871	2,068,289
公 営 住 宅 債	661,347	32,292	629,055
消 防 債	335,406	34,396	301,010
教 育 債	3,630,821	202,128	3,428,693
転 貸 債	0	0	0
減 税 補 て ん 債	1,208,664	70,747	1,137,917
臨時税収補てん債	130,776	7,096	123,680
臨時財政対策債	4,775,210	691,567	5,466,777
県 振 興 資 金	58,609	12,056	46,553
小 計	16,931,967	110,543	16,821,424
下 水 道 事 業 債	10,798,227	331,593	10,466,634
農業集落排水整備事業債	3,247,534	65,150	3,182,384
土地区画整理事業債	770,476	18,530	789,006
水 道 事 業 債	1,333,782	144,337	1,189,445
合 計	33,081,986	633,093	32,448,893

市債現在高

市債は、大規模な事業を実施した際に、国や民間の金融機関から借り入れた資金であり、公債費として支出し返済しています。

平成21年10月1日から平成22年3月31日までに、公的資金繰上償還に伴う借換債や臨時財政対策債などのために15億1716万8千円を借り入れた一方で、21億5026万1千円の元金を返済したことにより、平成22年3月31日の現在高は、324億4889万3千円となりました。

一時借入金

今後も、返済する元金の範囲内で市債を借り入れることにより、市債残高の抑制に努めます。

一時借入金とは、会計年度中に一時的に収支の不均衡を生じ、歳計現金が不足した場合に、その資金の不足を補うために借り入れるもので、当該年度の歳入で返済します。

平成21年10月1日から平成22年3月31日までは、一時借入金は行いませんでした。

市有財産現在高

土地は、竹ノ内街区公園用地や、西消防署用地の取得などにより増加しています。

建物、瓜連地区類似公民館の地区移管などにより減少しています。

出資による権利は、茨城県信用保証協会への寄託金の増などにより増加しています。

債権は、自治金融資金預託金の回収および老人保健施設整備資金貸付金の返還などにより減少しています。

基金は、農業集落排水整備事業基金を積立した一方で、公共施設整備基金を取崩したことにより減少しています。

水道事業会計

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。

収益的収支は、経常的な業務の収支を示すもので、主な収入は水道料金収入、支出は給水のための経費や人件費、減価償却費などです。収支状況は、黒字となっています。

また、資本的収支は、水道管の布設など建設改良費の収支を示すものです。収支状況は、赤字となっていますが、この不足分については、内部留保資金などで補うこととなります。

水道事業会計

単位：千円

区 分	収入	支出
収 益 的 収 支	1,143,542	992,156
資 本 的 収 支	41,636	472,394

市有財産現在高

区 分	単位	平成21年 9月30日現在	増 減	平成22年 3月31日現在
土 地	m ²	1,674,958	56,316	1,731,274
建 物	m ²	166,856	678	166,178
有 価 証 券	千円	15,540	0	15,540
出資による権利	千円	77,816	980	78,796
債 権	千円	55,025	20,515	34,510
基 金	千円	3,632,765	28,800	3,603,965

水道事業会計分は含まない

問い合わせ

財政課 財政グループ
(内線522・523)